

第30回在宅ケア懇談会

認知症を学ぼう！

安心して暮らせる共生のまちづくり

どなたでも受講いただけます

🏠 認知症ケア専門士単位：3単位

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、3年間中断を余儀なくされていましたが、多くの皆様からのご要望にお応えし「在宅ケア懇談会」再開の運びとなりました。今年も14年間継続して開催しております厚生労働省推進事業「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として、認知症予防の第一人者である新井平伊先生のご講演と「認知症サポーター養成講座」を開催いたします。私たちの住む浜松が認知症になっても安心して暮らせる共生のまちになることを目指しています。

認知症サポーターは、全国に1460万人を超える認知症サポーターが誕生しています（令和5年6月末現在）。在宅で介護をされておられる方々をはじめ、どなたでも受講いただけます。ご家族、ご友人をお誘いの上、ぜひこの機会に受講してください。

◎プログラムの概要

受付12:30～ 開始13:00～ 講座13:30～17:00

～開催にあたって～ 13:00～13:30

第1部 認知症最新医療 13:30～15:00

-「共生」は時代遅れ、在宅ケアも新たな展開-

講師：新井 平伊 先生 -アルツハイマー研究の第一人者-
(アルツクリニック東京 院長、公益財団法人認知症予防財団 会長
順天堂大学名誉教授)

座長：大城 一 (浜北RC・在宅ケア懇談会実行委員長)

～休憩～ 15:00～15:10

第2部 認知症サポーター養成講座 15:10～16:40

-認知症の正しい理解と支援の輪-

講師：奥山 恵理子 先生 -認知症サポーター養成講師-
(静岡県認知症ケア専門士会会長・パワー浜松RC)

座長：大城 一 (浜北RC・在宅ケア懇談会実行委員長)



～質疑応答～ 16:40～17:00

座長：志村 孚城 (在宅ケア懇談会会長・日本早期認知症学会 名誉理事)

●●● 認知症サポーターに期待されること ●●●

- ① 認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。
- ② 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
- ③ 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。
- ④ 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる。
- ⑤ まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する。

◎受講申し込みについて

裏面の申込書にご記入の上、053-588-4128 にFAXしてください。

令和5年

11月18日(土)

受講無料：定員300名

●会場：なゆた・浜北 3F なゆたホール ☎053(586)6200



※駐車場に限りがありますので、なるべく電車、バス等でお越しください。

- 主催：第30回在宅ケア懇談会実行委員会
浜北ロータリークラブ
- 協力：パワー浜松ロータリークラブ
- 後援：浜松市・浜松市医師会・浜松市浜北医師会
浜松市社会福祉協議会・日本認知症ケア学会
日本早期認知症学会・静岡県介護支援専門員協会
浜松市介護支援専門員連絡協議会
一社)生涯健康社会推進機構・公社)認知症の人と
家族の会静岡支部・J A静岡厚生連遠州病院
医)遠江病院・福)大善福祉会福)遠州秋葉会
福)茗翠会・浜松RC・浜松西RC
浜名湖RC・浜松中RC・浜松ハーモニーRC
浜北伎倍RC (順不同)

受講申込書

講座名：認知症の理解と共生 ～家族と地域の役割とは～

開催日時：令和5年11月18日（土） 受付12：30 開始13：00 終了17：00

場所：なゆた・浜北 3F なゆたホール

受講者をご記入の上、**この面をFAX**してください。申込み締切日：令和5年11月10日

なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

また、感染対策として体調不良や発熱等がある場合は参加を控えていただき、

当日はマスクの着用をお願いします。

FAX: 053-588-4128

●所属団体名・校名等： _____

●連絡先電話番号： _____ 申込日：令和5年 月 日

職種または学年	お名前	ご住所
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒

※第2部の受講者には「認知症サポーター養成講座標準テキスト」と「オレンジリング」を配布いたします。

※個人情報の取り扱いについて：本会の準備のために主催関係者のみで使用し、第三者に提供することはありません。

※8名以上の場合はコピーしてご利用ください。

◎連絡先・お問合せ先 Tel：053-588-4138 平日 9:00～17:00

「第30回在宅ケア懇談会実行委員会」事務局担当：北山、本間 E-Mail:t_kitayama@totomihp.com
〒434-0012 静岡県浜松市浜北区中瀬3832-1 遠江病院内